

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は 2022 年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 練習場および練習について

本競技場での練習は、13 時 00 分から 15 時 45 分まで許可する。ただし、開会式中の本競技場での練習は禁止とする。それ以降は補助競技場を使用の事（13 時～19 時まで使用可）。補助競技場以外の競技場周辺での集団走は一切禁止とする。

3. 競技場使用について

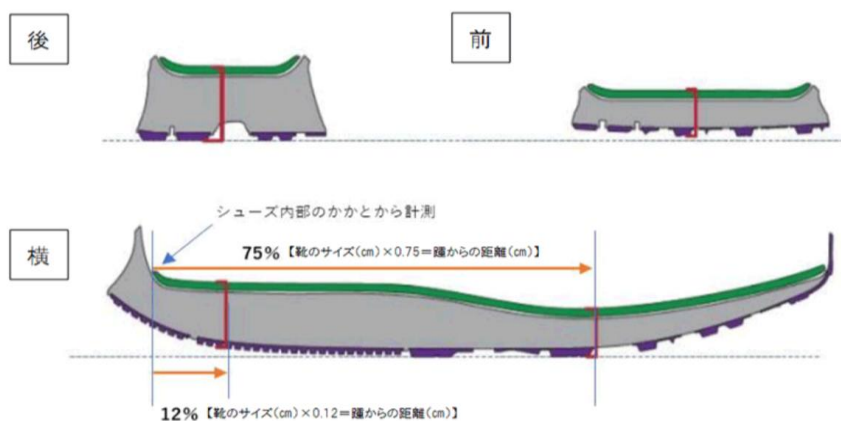
- (1) 本競技場は、全天候舗装である。スパイクシューズのピンの長さは 9mm 以下を使用すること。建物内ではスパイクで歩かないこと。
- (2) 競技者は競技役員の指示に従って入退場すること。

4. 招集について

競技者の招集は、メインスタンド1階、招集所（器具庫）にて競技開始 15 分前に完了とする。最終点呼のみ行う。その際にシューズ底厚さを計測するため、競技において使用するシューズを必ず持参し、競技役員の指示に従って測定を受けること。シューズ規則に関しては以下に示す。招集完了時刻に遅れた者は、棄権とみなす。

シューズ規則

- ・靴底の最大厚さ (TR5. 5/TR5. 13. 3) : 25mm
- ・靴底計測場所



- ・承認シューズリストに関しては、日本陸上競技連盟公式サイトを参照すること。日本陸上競技連盟公式サイト > 委員会情報 > 競技運営委員会 > シューズ規則に関して
サイト：[競技運営委員会：日本陸上競技連盟公式サイト \(jaaf.or.jp\)](http://jaaf.or.jp)

5. 棄権及び途中棄権について

- (1) 競技者の棄権は、予め代表者会議で届け出ること。
- (2) 故障等で出走者が男子8名、女子6名に満たなくなった場合、そのチームは対校の部棄権となり、オープン扱いとなる。
- (3) 対校の部出場競技者として当日走った競技者の中で途中棄権者が出て、完走した競技者が男子8名、女子6名に満たなくなった時点でその参加校はオープン扱いとなる。

6. アスリートビブスについて

アスリートビブスは主催者側が用意した、通しアスリートビブスを使用すること。男女ともに、受付にて配付された通しアスリートビブス、及び招集所にて配付する腰アスリートビブスを使用すること。また、腰アスリートビブスはパンツの右横や後方に取り付けること。

7. 競技について

- ①レーン順はプログラム記載通りとする。
- ②スタートの合図は英語で行う。
- ⑤各競技には時間制限を設ける。それぞれ以下に示した時間までに残り一周に到達しない場合はレースを打ち切ることとする。

女子 5000m	25 分
男子 10000m	40 分

8. 代表校選考方法について

男子：各校上位8名の10000mの合計タイム上位1校を秩父宮賜杯第54回全日本大学駅伝対校選手権大会の北信越地区代表校とする。

女子：各校上位6名の5000mの合計タイム上位1校を第40回全日本大学女子駅伝対校選手権大会の北信越地区代表校とする。

※ただし、申込期限において、対校の部が1チームのみの申込みの場合は、申込みを行ったチームを北信越地区代表校とする。

9. 対校の部の成績が同位だった場合の対処について。

対校の部の総合結果が同タイムであった場合、各チーム上位8名の中の総合順位を比較し上位者が多い参加校を上位とする。

10. 抗議・上訴について

競技進行中に起きた競技者あるいはチームの行為、または順位に関する抗議は、その種目の結果の正式発表（アナウンス）後 30 分以内に、その競技者あるいはチームの監督により、学連に申し出ること。その後、担当総務員を通して口頭で審判長に行う。その間、抗議者は学連本部で待機すること。

11. 応援について

本大会は無観客で行う新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、密状態を避けるため、メインスタンド含む競技場全体で集団応援禁止とする。発声の応援は禁止である。また、競技運営に支障の出る応援、または伴走をした参加校は失格とすることがある。

12. その他

- 主催者は、競技中の発病・負傷に対しては、応急処置以外の責任を負わない。
- トラックの芝生内は立ち入り禁止である。
- 競技者は保険証のコピーを持参すること。
- ゴミは各自で持ち帰ること。
- 閉会式終了後は、競技場内でミーティングは行わず、すみやかに撤収すること。